

(添付2) 入出庫分類

入出庫分類マスタ

2018/7/31



コード	小分類名	入出区分	原価対象区分	原価振替先科目	完成原価参入区分	仕入原価参入区分	製造原価参入区分	BOX							データ内容説明	
								〔仕入〕材料	〔仕入〕労務費	〔仕入〕外注費	〔仕入〕経費	〔製造間接費〕	〔製品〕	〔商品〕		〔損益〕
100	在庫	3						○					○	○	○	「在庫」データ(残高データ)
101	仕入	1			1			○	○	○					○	材料、商品の外部「仕入」データに付す
102	返品	1			1			○	○	○					○	材料、商品の外部「仕入返品」データに付す
103	有償支給仕入	1			1			○	○	○					○	材料、商品の外部「仕入(有償支給)」データに付す
105	値引	1			1			○	○	○					○	材料、商品の外部「仕入値引」データに付す
108	調整	1														?
109	未計上	1						○						○	○	材料、商品の外部「入荷」データに付す(仕入計上前で物品のみ受領したもの)
111	投入	1											○			『仕掛』BOXに各『仕入』BOXからの「消費」に対応する工程投入データに付す
112	完成	1			1									○		『製品』BOXの製品完成データで『仕掛』BOXからの「生産」と同一データ
113	間接費振替	1										○				『製造間接費』BOXに各『仕入』BOXからの「間接費振替」に対応する工程投入データに付す。「213 間接費振替」と相対。
114	最終工程完了	1											○			「加工部品」(製品区分＝加工部品)の最終工程完成入庫データに付す(「製品」の「112 完成」と同じ意味)。
122	無償支給	1						○							○	取引先より原材料等を無償で支給受けたデータに付す。
129	受入のみ	1						○							○	?
130	会計	1			1			○	○	○	○				○	会計システムより取込んだ会計仕訳データ。借方はプラス数値、貸方はマイナス数値で作成される。
131	共通部門費配賦	1											○			『製造間接費』BOX内で部門共通費の配賦データに付す。配賦元部門はマイナス数値、配賦先部門はプラス数値で相殺される。
132	補助部門費配賦	1											○			『製造間接費』BOX内で補助部門費の配賦データに付す。配賦元部門(補助部門)はマイナス数値、配賦先部門(製造部門)はプラス数値で相殺される。
135	組換	1						○					○	○	○	ある品番を別品番に変更する際に付す。例えばA1個とB2個の製品を使用して製品C1個に組み替える場合、製品C1個の「135 組替」データが作成される(一方製品A1個とB2個の「235 組替」が作成される)。
136	移動	1						○					○	○	○	「在庫」データを移動入庫する際に付す。「236 移動」と相対。
137	外注在庫へ	1						○					○	○	○	「在庫」データを外注工程へ移動入庫する際に付す。「237 移動」と相対。
139	在庫調整	1			1	2	2	○					○	○	○	「在庫」データの不一致を調整する際に付す調整入庫(原則イレギュラー処理)。
141	単価差異	1						△	△	△	△	△				部門別(・製品品番別)・原価品番別の単価要素の借方差異。(標準単価－実際単価)×実際数量 ※原則貸方表記
143	数量差異	1											△			部門別(・製品品番別)・原価品番別の使用数量要素の借方差異。(標準単価－実際単価)×実際数量 ※原則貸方表記
148	会計差分	2			1			○	○	○	○				○	会計の「勘定科目」ごとにSHINの集計金額と会計仕訳データの金額差に付す。
158	不一致	1														?
159	その他	1				2	2									全般的な原価振替に使用?

コード	小分類名	入出区分	原価対象区分	原価振替先科目	完成原価参入区分	仕入原価参入区分	製造原価参入区分	BOX								データ内容説明
								〔仕入〕材料	〔仕入〕労務費	〔仕入〕外注費	〔仕入〕経費	〔製造間接費〕	〔製品〕	〔商品〕	〔損益〕	
201	売上	2	1			2	2	○					○	○	○	製品、商品の外部「売上」データに付す
202	返品	2	1			2	2	○					○	○	○	製品、商品の外部「売上返品」データに付す
203	有償支給売上	2	1			2	2	○					○	○	○	製品、商品の外部「売上(有償支給)」データに付す
205	値引	2				2	2									製品、商品の外部「売上値引」データに付す
208	調整	2	1			2	2	○	○	○	○	○	○	○	○	全般的な調整に使用
209	未計上	2						○					○	○	○	製品、商品の外部「入荷」データに付す(仕入計上前で物品のみ受領したもの)
211	消費	2			1			○	○	○	○	○	○	○	○	各「損益」を除く8つのBOXで「仕掛」BOXで投入あるいは再投入されるために消費されるデータに付す。
212	生産	2											○			『仕掛』BOXの製品完成データで『製品』BOXへの「生産」と同一データ
213	間接費振替	2						○	○	○	○					各『仕入』BOXに『製造間接費』BOXへの「間接費振替」に対応する消費データに付す。「113 間接費振替」と相対。
221	破棄	2	2	005290		2	2	○					○	○	○	各「資産」BOXで破棄されたデータに付す。一般的にプラス数値で破棄。
228	棚卸減増	2	2	005290		2	2	○					○	○	○	各「資産」BOXで帳簿在庫数値と実地棚卸数値との差データに付す。プラス数値で棚卸減、にマイナス数値で棚卸増。
229	出荷のみ	2						○					○	○	○	
230	会計	2	2	005290				△	△	△	△			△	○	※「売上」を除き原則的に「在庫」データとして処理
235	組換	2						○					○	○	○	ある品番を別品番に変更する際に付す。例えばA1個とB2個の製品を使用して製品C1個に組み替える場合、製品A1個とB2個の「235 組替」データが作成される(一方製品C1個の「135 組替」が作成される)。
236	移動	2						○					○	○	○	「在庫」データを移動在庫する際に付す。「136 移動」と相対。
237	外注在庫へ	2						○					○	○	○	「在庫」データを外注工程へ移動在庫する際に付す。「137 移動」と相対。
239	在庫調整	2	2	005294	1			○					○	○	○	「在庫」データの不一致を調整する際に付す調整在庫(原則イレギュラー処理)。
241	単価差異	2						○	○	○	○	○	○	○	○	部門別(・製品品番別)・原価品番別の単価要素の貸方差異。(標準単価－実際単価)×実際数量
243	数量差異	2											○			○) 部門別(・製品品番別)・原価品番別の使用数量要素の貸方差異。(標準単価－実際単価)×実際数量
245	歩留差異	2											○			○) 部門別・製品品番別の実際消費数量と次工程実際投入の貸方差異。(次工程実際投入数量－実際消費数量)×標準原価
249	差分	2						○	○	○	○	○	○	○	○	原価差異、会計差分考慮後の部署別貸借金額差額(各仕入BOX及び仕掛BOX、製品BOXは製品別、製造間接費BOXが部署別)
258	不一致	2				2	2									
259	その他	2	2			2	2									全般的な原価振替に使用?